

平成23年度佐賀県学習状況調査(6年生)  
分析結果と今後の対応について

【小城市立芦刈小学校】

国語

○県平均を大きく上回っている。  
○どの内容・領域も県平均を大きく上回る。特に、文章を読んで登場人物の心情を読み取る問題では県平均を大きく上回っている。しかし、文章を読んで本文中の言葉を使って解答することは、不十分である。  
○細かい文章内容の読み取りや文章を要約することが不十分である。

★今後の対応

- ①長い文章を読んで、文章構成や要点をまとめて書く学習の充実を図る。
- ②解答を書く時、問題にあった表現の仕方を指導する。
- ③「よみときタイム」で、情報を整理して順序よく自分の考えをまとめて書く活動を取り入れる。
- ④「辞書引き活動」や「漢字タイム」を使って正しく言葉を使う習慣づけをし、家庭学習で継続して漢字の練習に取り組ませる。
- ⑤家庭と連携を取り、読書を家庭でも増やしてもらう。また、毎日の音読練習に協力をしてもらう。

算数

○県平均を大きく上回っている。  
○5年生で学習した内容の理解や計算力は、県平均を大きく上回っている。特に四則計算や、分数で量を表わす問題の正答率は県平均をかなり大きく上回る。  
○どの内容・領域も県平均を大きく上回る。数量関係は特に県平均を大きく上回るが、何倍かを求めることや問題文の中から必要な条件を筋道立てて考えることや考えの根拠を式と言葉で説明することは不十分である。  
○全体的に学習したことをそのまま問われる問題の正答率は高いが、単位のミスや単純な計算ミスが目立つなど、結論まで出す丁寧さに課題がある。

★今後の対応

- ①今後も個に応じた指導を続け、基礎的な内容の定着を図るとともに、考える授業づくりに取り組んでいく。
- ②多種多様な問題を数多く取り組ませることによって、応用力を身につけさせる。

“ 継続は力なり ” (芦刈小の児童の学力向上に向けて)

毎週火曜と水曜の朝の時間は「10分間の読書+のびのびタイム(10分間の計算)またはよみときタイム(文章を読んで自分の考えを書く活動)」、同じく木曜は「読書+スピーチタイム」、水曜日の午後15分間は「漢字タイム」を、全校一斉に行っています。

社会

○県平均をやや上回っている。  
○「食料生産の様子と国民生活」「通信などの産業と国民生活」「国土の様子」が県平均を大きく上回り、「工業の様子と国民の生活」はやや上回っている。  
○日本の食糧自給率の課題について読み取り、自分の言葉でまとめることや、日本の工業地帯や漁業などの知識・理解に関する問題が不十分である。

★今後の対応

- ①資料を読み取ったことを文章や自分の言葉で表現する活動を取り入れていくことで、さらに理解を深めさせる。
- ②地図と自分の住んでいる地域と結びつけながら、見学や調査活動、新聞にまとめる等の体験活動を取り入れ、主体的に学習する活動を取り入れていく。

理科

○県平均をやや上回っている。  
○「物質とエネルギー」の領域が、県平均を大きく上回り、「生命・地球」では、県平均をやや上回っていた。  
○活用の問題においては、どの問題に対しても県平均を大きく上回っていた。

★今後の対応

- ①各単元に出てくる理学的用語の意味を十分理解させ、実験・観察の過程で使った器具や実験の仕方が適切だったか振り返らせる必要がある。
- ②実験や観察の結果から分かったことを絵や図、グラフなどを使って自分の言葉でまとめる力や説明する力をつけさせる。

